学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字
結

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより１３号
令和５年７月２０日発行
文責：校長・副校長

１学期終業式

本日、テレビ放送で終業式を行いました。校長式辞では、校長先生から宿題が出されました。

私からの夏休みの宿題です。二つ、出します。

一つ目です。夏休み中の活動に全力を尽くすということです。夏休み中には、県中総体とそれに続く上位の大会、また、吹奏楽コンクールなどが行われます。大会等に出場する人は、無限大の可能性を信じて、それぞれの目標を達成してください。全員共通の全力を尽くすことは、「しっかりと勉強する」です。将来の自分自身の夢や目標の実現へ向け、当面は、８月末の実力テストに向け、夏休みの時間を有効に活用してほしいと思います。

二つ目は、全員無事で、二学期にそろって登校することです。最近の報道でもあっていましたが、水の事故や交通事故などで絶対に命を落とすことがあってはなりません。感染症や、熱中症など、体調を崩すことがないように。自分の命を自分で守る行動をしてください。そして、心を見つめる教育週間のときに紹介した「命のバトン」という詩を覚えているでしょうか。みなさんは、みなさんのお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんなど、たくさんの人からいのちのバトンを受け継いできているのです。自分の命は自分のものだけではありません。ですから、どんな理由であれ、命を落とすようなことが決してあってはなりません。もし、深刻な悩みがある場合は、お家の人や先生、そして、とっちゅうガイドブックに載っている、相談電話など、誰かに相談してください。相談するだけでもとても気持ちが楽になります。どうか、命を大事にしてください。

２学期の始業式で、お互い元気な姿で会いましょう。

２つともとても大切な宿題です。夏休みが終わった頃に、「できた！」と言えるような充実した夏休みになることを願っています。

また、各学年の代表が１学期の反省を述べました。１年生は、山岡航青さん、２年生は、田端颯士さん、３年生は、入江朱花さんです。

緊張しながらも、学年の代表として一生懸命に話をしてくれました。この反省を生かして、２学期はそれぞれの学年でより一層の成長が見られるよう楽しみにしています。

長いようで短かった１学期でしたが、行事ごとに生徒が活躍をして成果を残したり、感染症が流行って臨時休業になったり、その他でもいろいろなことがあった学期でしたが、保護者・地域の皆様のご理解とご協力のもと、何とか乗り切ることができ、生徒の成長にもつなげることができる学期となりました。

まだまだ課題もございますが、２学期も教職員一同、これまで以上に生徒の成長のため頑張っていきたいと思いますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

校長先生からは、宿題以外にも大切な話がありました。

３人とも緊張していましたが、立派に発表できました！！